

静岡県

JA三島函南 レタス・エダマメ複合生産者

生産

販売

複合作物による雇用リレーと ブランド化で、新たな所得の実現



農業者の
所得増大

JA三島函南（三島市、田方郡函南町）では、**生産拡大**に向けた専業レタス農家の複合作物としてのエダマメ導入による雇用リレーの実現、**販売拡大**に向けた地域ブランド推進協議会加入によるブランド化などさまざまな取り組みを実践しています。

その結果、レタス・エダマメの複合生産における10a当たりの農業所得は、2019年度には75万円となり、2016年度のレタスのみでの33万円に比べ**127%増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

生産拡大に向けては、レタス生産者で課題となっていた農閑期の労働者の離職を防ぎ、経営の安定化を図るため、複合作物として**繁忙期の異なるエダマメを新たに導入することで、通年雇用する仕組み(雇用リレー)を確立**しました。

また、資材コストの高騰による経費の圧迫を軽減するため、レタス収穫後の圃場、被覆資材を再利用し、コスト低減、圃場利用率の向上に取り組みました。

その結果、エダマメ作付農地の面積は、作付を開始した2016年度から2019年度までに5.3ha増加しました。

販売拡大に向けては、JA三島函南、三島市、商工会議所、観光協会で構成する**地域ブランド推進協議会**の中で、新規作物であるエダマメをこれまでも実績のある箱根西麓三島野菜（馬鈴薯・甘藷・レタス・人参・エダマメ）の1つとしてブランド力強化に取り組みました。協議会に加入することでロゴマークの使用が可能となり、オリジナル出荷袋を作成することで、他産地との差別化を図りました。

その結果、エダマメの販売高は作付を開始した2016年度から2019年度までに4,100万円増加しました。

これらの取り組みにより、2016年度から2019年度にかけて、管内レタス部会のレタス・エダマメ複合生産者において、**10aあたり127%の所得増大を実現**しました。

複合作物の導入による 2016年度から2019年度の新規増加

エダマメ作付農地の面積



NEW

5.3 ha

エダマメの販売高



NEW

4,100 万円

レタス・エダマメの複合生産における 10a当たりの農業所得

2016年度

33 万円

127%
増

※2 2019年度

75 万円

※1 静岡県技術原単位における所得率を用いて試算
※2 エダマメ農家における平均的な所得率を用いて試算



（レタス収穫後の圃場、被覆資材をエダマメ生産に再利用）



（地域ブランド推進協議会ロゴマーク入りオリジナル出荷袋）

